

～今月の花木～



セイヨウシャクナゲ 西洋石楠花

ツツジ科・常緑低木・園芸品種

枝先に大きな花をつけ、何となく派手な印象を受ける。垂れ気味につく葉は、ユズリハに似る。

植栽管理

気候も暖くなり、草木も伸びる季節となりました。世の中「管理」と名のつくものは多々ありますが、季節により変化や対応の仕方が異なる管理の中に「植栽管理」があります。職場や組合などにおいて、あまり興味も無く、初めて「植栽管理」や「緑地管理」などの担当になった方にとっては、いつ、何をすればよいのか分からない事もあるかと思いますが、植物は毎年ほぼ決まったサイクルで生活しているため、やる事は大体決まっています。

いつ、何をするのかの目安として、参考まで裏面に植栽管理の年間の作業表を載せてみました。ご不明な点は当社へご相談下さい。

また、植栽管理の一例やポイントは下記の記事も合わせてご覧下さい。



台風による枯木の倒木(ユリノキ)

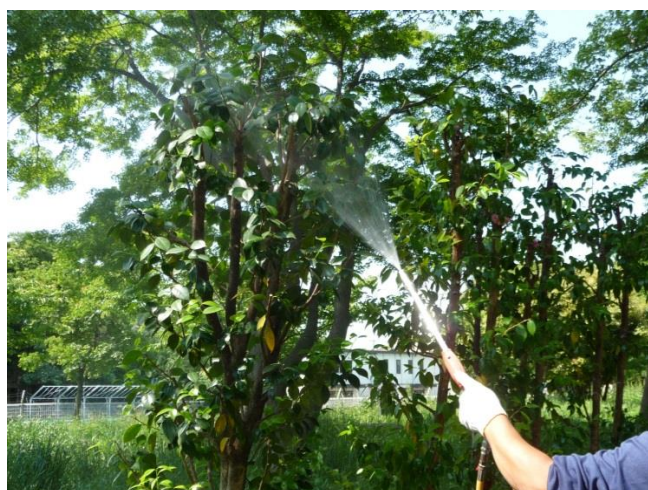


大雪の雪害による枝折れ(クスノキ)

気象害への対応・軽減

昨年の台風や今年2月の大雪により、樹木が折れたり、倒れたりすることがあり、弊社でも緊急に対応しました。災害の規模により、被害を全く無くすることは不可能ですが、あらかじめ枯木は伐採する、枯枝は切除する、繁茂しすぎている樹木は剪定することで、あらかじめ被害を軽減することは可能です。

災害を未然に防ぐためにも、植栽の状況を点検して、対処することは大切です。



ツバキへの薬剤散布(チャドクガ駆除)



街路樹(ケヤキ)の腐朽度合の樹木調査

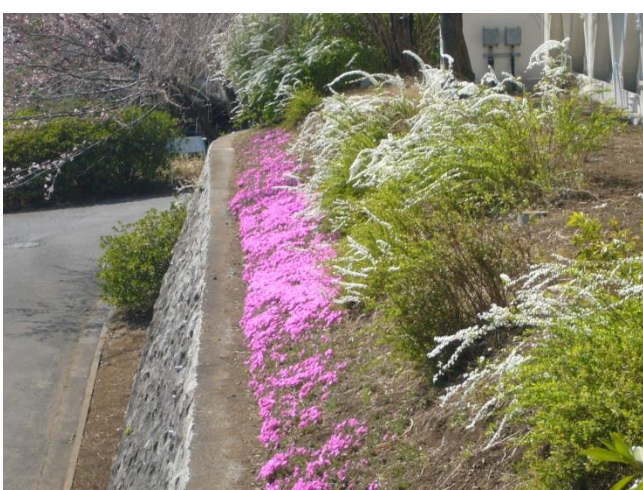
病害虫の防除・樹木診断

植物には様々な害虫が発生しますが、特にツバキやサザンカにつく「チャドクガ」という害虫は5月と9月頃に発生し、人が触れるとかぶれますので、見つけ次第、枝ごと補殺や薬剤散布による防除が必要です。

樹木の病気や障害を調査して、現状の改善提案や倒木等の危険性を判断する樹木診断も業務の一つとして行っています。必要に応じて樹木医による診断も行っています。



高木剪定の一例(シラカシ他)



法面のシバザクラとシダレヤナギの植栽例

景観や環境の向上

「環境は人をつくる、その環境は人がつくる」という言葉があります。

植栽管理においても、人の関わり方次第で環境は変化し、人にも影響を及ぼします。

面積が広すぎるなど、全てに手が回らないときは、優先順位をつけて「ここだけはきれいだね」でもいいかも知れません。

景観や環境を向上させると、そこに居る人、訪れる人の気持ちも上向き気がいたします。

植栽管理年間作業表

作業時期は一般的な目安です。植栽の種類により変わる場合がありますので、詳しくはお問い合わせ下さい。

最適期



多少よい時期



作業内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
樹木管理													
常緑樹剪定		←→					←→				常緑樹は寒い時期はあまりよくない		
落葉樹剪定	花木は花後直後がよいものが多い(樹種による) ←.....→						落葉前だと落葉清掃が楽 ←→						
針葉樹剪定			←.....→				←→						
低木(生垣)刈込	花木は花後直後がよいものが多い(樹種による) ←→						花木は軽めにしないと翌春の花が楽しめなくなる ←→						
植込み地除草		←→					←→						
施肥	春の芽だし肥や花後のお礼肥(速効性肥料) ←→						寒肥は特に有効(遅効性肥料) ←→						
病虫害防除	チャドクガ(ツバキ類)注意 ←→				サクラ、ツバキ類注意 ←→			冬季の石灰硫黄合剤散布は有効だが臭い ←→					
マツ手入れ		みどり摘み ←→				もみ上げ(古葉落とし)、剪定 ←→							
マツ枯れ防止	枯マツは4月までに伐採 ←→						マツ枯れ予防剤注入は冬期に施工 ←→						
芝生管理(日本芝)	※主に野芝と高麗芝												
芝刈り		月1回 ←→		月2回 ←→		月1回(10月で刈り止め) ←→							
除草剤散布						冬雑草発芽前 ←→				夏雑草発芽前 ←→			
施肥	月1回程度 ←→												
手取り除草	←→	←→	←→	←→	←→		冬雑草は目立つので取りやすい ←→						
芝張り(補植含む)	←.....→												
裸地・そのた管理													
草刈り・除草		最低年3回は行いたい ←→											
落葉はき							←→						

病虫害防除の留意点

春先から、秋口にかけて、植栽に発生する病虫害が目立つようになります。

自然に治まることもありますが、植栽の衰弱や人への被害を招くこともあり、早期発見と防除が望ましいです。

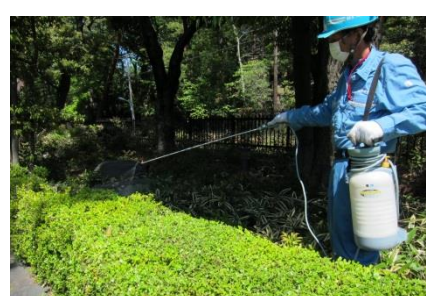
補殺・切除

病気や害虫に侵された枝葉を切除し、処分することは、病虫害防除の基本です。手間はかかりますが、効果と安全性の高い防除法です。



薬剤(農薬)散布

大量かつ広範囲に発生した病虫害には、農薬散布が安価かつ効果的です。農薬のラベルに記載してある使用方法を守ることが大切です。



風通しを良くする

剪定などにより、樹冠内の通風と日照を良くすることは、病虫害の発生軽減につながります。また植栽を元気に育成すると、病虫害にも強くなります。

